



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022

URL <https://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂尾 耕作

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 常務執行役員 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	35,237	5.5	4,510	47.6	4,636	56.8	3,235	61.4
2025年3月期第3四半期	33,388	10.0	3,056	44.9	2,957	48.8	2,004	38.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,425百万円( 92.8%) 2025年3月期第3四半期 1,776百万円( △1.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第3四半期	414.	26	—	—
2025年3月期第3四半期	254.	83	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	48,109	30,262	62.9
2025年3月期	45,838	27,877	60.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 30,262百万円 2025年3月期 27,877百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 3 月期	—	48.00	—	72.00	120.00
2026年 3 月期	—	64.00	—		
2026年 3 月期 (予想)				106.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想修正の詳細は、本日(2026年2月12日)開示しております「業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	47,700	5.0	5,800	22.5	6,000	30.4	4,200	34.1	円 銭 537.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想修正の詳細は、本日(2026年2月12日)開示しております「業績予想の修正及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	7,944,203株	2025年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	131,846株	2025年3月期	136,813株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	7,809,869株	2025年3月期3Q	7,866,806株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項  
(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間) .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が継続し、賃金と物価の好循環への期待が高まるなか、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、米国の通商政策による世界経済への影響や地政学的リスクの長期化に加え、物価上昇の継続が個人消費を下押しする懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような環境のなかで、当社グループは、長期ビジョン「RasaVision2033」を掲げており、当年度は、このビジョン実現に向けた“種まき”の期間（フェーズ1）と位置づける「中期経営計画2026（2024年度～2026年度）」の2年目として、引き続き「経営資源の最適化と収益力強化を推進し、企業価値向上への基盤強化を図る」ことを基本方針とし、キャッシュアロケーションに基づいた適切な資源配分による資本効率の向上と、コア事業の収益力強化および成長事業の拡大による資本収益性の向上に注力いたしました。これらに加え、環境・社会・ガバナンスにおけるマテリアリティ（重要課題）への対応やDXの推進にも注力し、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、352億37百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益45億10百万円（前年同期比47.6%増）、経常利益46億36百万円（前年同期比56.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、32億35百万円（前年同期比61.4%増）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①化成事業

磷酸などの燐系製品につきましては、一般品向けが引き続き低調に推移し減収となりましたが、半導体向け高純度品は国内向けの減収分を海外向けの堅調な販売が補い、全体では増収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、電子部品のエッチング用途向け製品が減収となったものの、上水道向け製品が堅調に推移した結果、全体では増収となりました。

コンデンサー向け原料につきましては、減収となりましたが、消臭剤は増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、294億46百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は、41億62百万円（前年同期比21.6%増）となりました。

#### ②機械事業

建設機械につきましては、破碎機などの本体販売や消耗部品販売およびプラント販売がいずれも低調に推移し減収となり、精密機械加工は増収となったものの、全体では減収となりました。

土木機械につきましては、下水道関連向け掘進機のレンタル物件が引き続き堅調だったことに加え、本体販売の海外向け販売が伸長し増収となったことで、全体でも増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、30億22百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は、2億16百万円（前年同期はセグメント損失1億77百万円）となりました。

#### ③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、化合物半導体市況が堅調に推移し、赤燐、インジウムは増収、ガリウムはスポット販売もあり大きく増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、18億27百万円（前年同期比63.7%増）、セグメント利益は、5億56百万円（前年同期比456.0%増）となりました。

#### ④その他の事業

石油精製用触媒の再生事業は、若干の減収となりました。不動産の賃貸は、ほぼ前年並みに推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、9億41百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は、5億81百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて4億1百万円増加し、239億83百万円となりました。これは、棚卸資産が8億74百万円増加、受取手形及び売掛金が5億72百万円増加した一方、現金及び預金が11億91百万円減少したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて18億69百万円増加したことにより、241億26百万円となりました。これは、有形固定資産が16億20百万円増加、投資有価証券が2億79百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて1億13百万円減少し、178億47百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金の合計が6億42百万円減少、未払法人税等が2億63百万円減少、賞与引当金が2億8百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が7億3百万円増加、固定負債のその他（主に繰延税金負債）が2億35百万円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を32億35百万円計上、為替換算調整勘定が1億7百万円増加した一方、配当金の支払により10億62百万円減少したことなどから前連結会計年度末に比べて23億84百万円増加し、302億62百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は481億9百万円となり、自己資本比率は62.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績及び今後の業績見込を勘案し、2025年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想及び期末配当予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2026年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,054	3,863
受取手形及び売掛金	11,665	12,238
商品及び製品	3,506	3,819
仕掛品	1,232	1,071
原材料及び貯蔵品	1,779	2,501
その他	342	488
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,581	23,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,007	3,980
機械装置及び運搬具（純額）	5,190	4,951
工具、器具及び備品（純額）	965	1,020
土地	6,822	6,822
建設仮勘定	715	2,560
その他（純額）	126	114
有形固定資産合計	17,828	19,449
無形固定資産	45	49
投資その他の資産		
投資有価証券	3,234	3,513
その他	1,152	1,117
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,382	4,627
固定資産合計	22,257	24,126
資産合計	45,838	48,109

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,441	4,144
短期借入金	4,342	5,121
未払法人税等	881	618
賞与引当金	443	235
業績連動報酬引当金	47	—
その他	1,847	1,943
流動負債合計	11,004	12,063
固定負債		
長期借入金	3,996	2,575
退職給付に係る負債	2,549	2,562
その他	410	645
固定負債合計	6,956	5,784
負債合計	17,961	17,847
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
資本剰余金	7	17
利益剰余金	17,965	20,138
自己株式	△328	△316
株主資本合計	26,088	28,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	136
繰延ヘッジ損益	△8	13
為替換算調整勘定	1,373	1,481
退職給付に係る調整累計額	345	348
その他の包括利益累計額合計	1,789	1,979
純資産合計	27,877	30,262
負債純資産合計	45,838	48,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	33,388	35,237
売上原価	26,627	27,069
売上総利益	6,760	8,167
販売費及び一般管理費	3,704	3,657
営業利益	3,056	4,510
営業外収益		
受取配当金	36	36
受取地代家賃	22	24
持分法による投資利益	53	241
その他	61	62
営業外収益合計	174	364
営業外費用		
支払利息	93	92
休止鉱山鉱害対策費用	92	92
その他	87	53
営業外費用合計	273	238
経常利益	2,957	4,636
特別利益		
固定資産受贈益	20	—
特別利益合計	20	—
特別損失		
減損損失	6	—
その他	0	—
特別損失合計	6	—
税金等調整前四半期純利益	2,971	4,636
法人税、住民税及び事業税	759	1,110
法人税等調整額	206	290
法人税等合計	966	1,400
四半期純利益	2,004	3,235
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,004	3,235



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,004	3,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	57
繰延ヘッジ損益	1	22
為替換算調整勘定	△174	151
退職給付に係る調整額	22	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△43
その他の包括利益合計	△227	190
四半期包括利益	1,776	3,425
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,776	3,425
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	28,226	3,071	1,116	32,414	973	33,388	—	33,388
外部顧客への売上高	28,226	3,071	1,116	32,414	973	33,388	—	33,388
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	—	6	25	32	△32	—
計	28,233	3,071	1,116	32,421	999	33,420	△32	33,388
セグメント利益又は 損失(△)	3,423	△177	100	3,345	604	3,950	△893	3,056

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△893百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△894百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械事業	電子材料 事業	計				
売上高								
顧客との契約から 生じる収益	29,446	3,022	1,827	34,296	941	35,237	—	35,237
外部顧客への売上高	29,446	3,022	1,827	34,296	941	35,237	—	35,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	—	—	17	25	43	△43	—
計	29,464	3,022	1,827	34,314	966	35,280	△43	35,237
セグメント利益	4,162	216	556	4,935	581	5,516	△1,006	4,510

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△1,006百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,005百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 顧客との契約から生じる収益以外の収益の額については重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,360百万円	1,330百万円